

SSH事業評価ルーブリック II 期目

鹿児島県立国分高等学校

国分高校 SSH研究課題名

「霧島から世界へ イノベーティブな科学系人材の育成を目指した国分プログラムの開発と展開」

ルーブリック表

段 階				
	1 不十分	2 やや不十分	3 概ね十分	4 十分
項 目	指示されたことができない	指示されたことを実践できる	主体的に活動し、自分のものになっている	学習活動から発展し、周囲にも影響を与える
1	課題発見力 あらゆる学習・事象に興味・関心が薄い ため、自分なりの視点からの課題を発見 することが困難である。	いくつかの学習・事象に関心を示すが、 相互に関連付けたり、深めたりしようと せず、周囲に促される形でテーマや仮説 を設定している。	学習・事象に興味・関心があり、現代社 会への課題認識と自らの興味・関心を関 連付けながらテーマを発見し、仮説を設 定している。	あらゆる学習・事象に興味・関心が高 く、現代社会への課題認識と自らの興 味・関心を関連付けながら独自の視点で テーマを発見し、他の見本となるような 仮説を設定している。
2	情報活用力 仮説や課題への意識が不十分で、収集し た情報に統一感がない。そのため、収集 した情報を整理・活用できず、考察を深 めるに至らない。	仮説や課題への意識はあるが、情報探査 への意欲が不足する。そのため、示され た範囲でしか情報を収集せず、考察が一 定の深まりにとどまる。	仮説や課題への意識が高く、必要な情報 を探査・収集し、適切な分析や分類に基 づいて考察することで、結論に到達して いる。	仮説や課題を検証すべく、多様な媒体か ら必要な情報を探査・収集し、適切に分 析や分類して、一定の結論に至るため、 粘り強く考察を進めている。
3	主体性・ 協働性 探究の協働活動において、貢献の意欲が 見られず、ネガティブな発言も多く、 チームでの探究推進において妨げとな る。	探究の協働活動において、主体性を持た ず、他の意見に流されて、チームでの探 究推進への貢献は不十分である。	探究の協働活動において、牽引役とはな らないが、主体的に自分の役割を理解し ようとし、探究の進歩や深化・拡充に一 定の貢献をしている。	学習活動において、自分の役割に責任を 持ち、主体性や牽引力もあり、協働で行 う探究の進歩や深化・拡充に多大な貢献 を果たしている。
4	表現力 仮説と考察を軸に、複数情報の整理がで きず、プレゼンや論文でわかりやすく伝 える工夫ができていない。	自分の行った課題研究や学習に関して収 集した情報等の整理に努めているが、分 かりやすい発表(プレゼンや論文)に至っ ていない。	自分の行った課題研究や学習を、他者に わかりやすく伝えるために、プレゼンや 論文において、資料や発表への工夫があ るが、インパクトが薄い。	自分の行った課題研究や学習を、他者に わかりやすく伝えるために、必要かつ効 果的なプレゼンや論文記述の方法を試み るなど、資料や発表への工夫が顕著であ る。
5	科学性 検証可能な仮説を立てることができず、 偏った視点からその検証を行い、根拠に 基づかない結論を導いている。	テーマに基づいて仮説を立てるもののそ の検証が難しく、一元的な視点から客観 性に乏しい根拠に基づいて、自分の結論 を導いている。	テーマに基づいた仮説を立て、いくつか の視点から客観的にその検証に努め、根 拠を持って自分の結論を説明できる。	テーマに基づいた仮説を立て、様々な視 点から定量的かつ客観的にその検証に努 め、確固たる根拠をもって自分の結論を 説明できる。